

※1:2などオキシの割合が増えると色が沈む可能性があります。
※リフトアップしづらいので、既染部への使用を推奨します。

通常のアディクシー第2剤と置き換えるだけで ダメージ低減とクリアな発色を両立

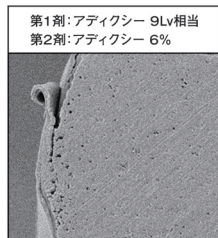


クリアキープAC処方

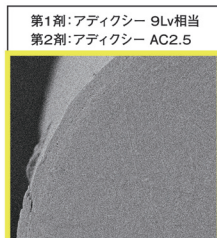
1 ダメージ低減

濁りや沈みを最大限抑えながらクリアな発色が叶う
オキシ濃度(2.5%)と酸※2のバランスでダメージを低減します。

■ 繰り返しカラーした際のダメージレベルの検証



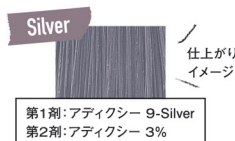
ダメージホールが点在



ダメージホールが減少

2 色相ブレの抑制

アディクシー本来の発色バランスを整える
SCOコンプレックス※3配合により色相ブレを抑制します。



3 なめらかで 美しい仕上がり

3種のオイル※4配合により
髪のパサつきを抑えて潤いを保ち、
なめらかな手触りとまとまりのある
仕上がりへ。



※イメージ

ダメージ低減しながら濁りや沈み・色相ブレを抑え
アディクシー本来のクリアな発色の両立を達成

※1 濁りや沈みを抑え、第2剤 3%と同等の発色 ※2 リン酸(pH調整剤)、クエン酸(安定剤) ※3 POPステアリエーテル(乳化剤)、オクチルドデカノール(油脂剤) ※4 シア脂(毛髪保護成分)、米ヌカ油(毛髪保護成分)、バーム油(毛髪保護成分)

>>> 第2剤オキシダン 髪の状態に合わせて使い分ける4タイプです。



AC2.5

ハイダメージの
トーンダウン時に。



3%

ダメージが気になる
ときのトーンダウン
時に。



4.5%

透明感を保ちながら
のトーンダウン、軟毛
のリフトアップ時に。



6%

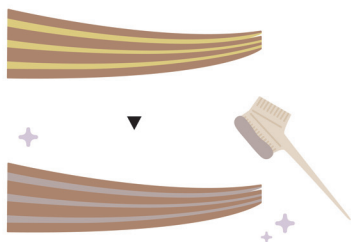
リフトアップ時に。

おすすめの使用シーン

コントラストを出したい時

ハイライトの オンカラー時に

リフトアップを抑えながら発色するので
ハイライトデザインを損なわずに
色味の補充ができます。



グラデーションや バレイヤージュに

根元に使用することでリフトアップを抑えながら
発色するので毛先とのコントラストを出すことが
できます。



カラーの繰り返しによる 褪色時の黄味を抑えたい時

リフトアップが抑制されることで
きれいなヘアカラーを長く楽しめます。

